第壱号議案

平成 23 年度　千葉県自閉症協会活動報告

全般的活動（会長：大屋）

1. 千葉県における自閉症、発達障害の人たちを代表する団体として活動しました。
   千葉県自閉症協会を構成する 17 市・地区自閉症協会に所属している会員総数は、24 年 4 月 1 日時点で 1008 名です。
2. 千葉県の健康福祉、特別支援教育行政担当者と緊密に意見交換を行いました。
3. 千葉県の福祉、教育に関わる会議に委員として参加しました。
   千葉県障害のある人の相談に関する調整委員会　角口早苗
   障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例推進委員会　大屋滋
   千葉県発達障害者支援センター連絡協議会　大屋滋
   千葉県障害児教育研究推進会議　大屋滋
   千葉県特別支援教育総合推進事業運営協議会　大屋滋
4. 地区会との協力の下、千葉県自閉症協会の運営を行いました。
   ①　1,2 ヶ月に 1 回の頻度で、理事会を開催しました。
   ②　役員メーリングリストを活用して、迅速な情報と意見交換を行いました。
5. 事業部、Will クラブ事業部、総務部、広報部において、種々の事業を行いました。
6. 平成 22 年 4 月、千葉県・市発達障害者支援センターと世界自閉症啓発デーin ちば実行委員会を組織し、自閉症啓発デー関連のイベントを実施しました。
7. 千葉県発達障害者支援センター、千葉市発達障害者支援センターとともに世界自閉症啓発デーin ちば実行委員会を組織し、平成 23 年 3 月 25 日・26 日開催に向けて展示会やキャラバン隊の公演、講演会等を企画しましたが、東日本大震災の発生により延期いたしました。千葉県庁懸垂幕、成田市役所広告塔への掲示活動を行いました。
8. 日本自閉症協会の活動へ参画しました。総会、理事会、役員連絡メーリングリストなどで、協会の活動、運営体制、組織改革について積極的に意見や要望を行いました。
   理事：大屋滋
   代議員：竹蓋伸六
   出版部委員：朝倉潤一、白水幹久、大屋滋、神成京美
   共済事業 ASJ 互助会給付委員：高橋純子
   共済事業 ASJ 互助会推進委員：矢作貞代
9. 関東ブロック会議及び、メーリングリストの運営に参画しました。関東ブロック内での意見や情報の交換を行いました。
10. 他の都道府県の発達障害支援センター、医療・教育・福祉など団体の依頼を受け、講演や研修などの活動を行いました。
11. 千葉県発達障害者支援センター、千葉市発達障害者支援センターとともに世界自閉症啓発デーin ちば実行委員会を組織し、平成 23 年 9 月 19 日（月）に、千葉市きぼーるにおいて啓発イベントを開催しました。東日本大震災の被災経験を集約し今後の災害対策などに関する展示を主体としました。

各部局活動報告

事務局

1. 地区自閉症協会の活動を支援しました。
   - ① 社会福祉法人青葉会設立準備会チャリテイ演芸会、後援。
   - ② 社会福祉法人青葉会設立準備会　田中泰雄氏講演会、後援。
   - ③ 習志野市自閉症協会・八千代市自閉症協会主催　明石洋子氏講演会、後援。
2. 関係団体との連携、協力等を図りました。
   - ① 浦安市市民活動団体「アスペルガーの自分取扱説明書」第１回セミナー、後援。
   - ② 第４回地域づくりフォーラム（主催：地域づくりフォーラム実行委員会)、後援。
   - ③ 事業名：『映画上映会』(主催：映画「星の国から孫ふたり」上映実行委員会)、後援。
   - ④ 日本臨床発達心理士会研修会（日本臨床発達心理士会主催）、千葉市自閉症協会会長菊池氏出席。
   - ⑤ 社会参加自立啓発推進会議（7/14　千葉県特別支援PTA連合会主催）、竹蓋副会長出席。
   - ⑥ 千葉大学先進科学センターより千葉大学講師の委嘱依頼があり、菅原理事を推薦。
   - ⑦ 第38回特別支援教育振興大会表彰者としてコスモス理事長、青山春美先生を推薦。
   - ⑧ 第38回特別支援教育振興大会及び第45回長生地区特別支援教育振興大会（11/18）、竹蓋副会長、今関理事出席。
   - ⑨ 千葉大学オムニバスセミナー（1/6）、菅原理事講師として出席。
   - ⑩ 「千葉県福祉のまちづくり条例見直し検討委員会」委員に白水副会長を推薦。
   - ⑪ 第1回「千葉県福祉のまちづくり条例見直し検討会議」（3/27）、白水副会長出席。
3. 2011年列車の旅プレゼント実行委員会主催（東日本旅客鉄道労働組合千葉地方本部・東日本旅客鉄道株式会社千葉支社）による「2011年列車の旅プレゼント」（10/8　行先安房小湊内浦山県民の森）に会員14組が参加しました。
4. ASC事務所の管理（郵便、ファックス等への対応・整理）をしました。
5. ASJ互助会給付委員会に給付委員、高橋理事が出席しました。

   平成23年度委員会12回開催日

   4/25、5/23、6/27、7/22、8/25、9/27、10/24、11/21、12/22、1/24、2/27、3/26

   3月現在加入者　協会　3,116人、施設　1,626人、事務局　649人 合計5,391人
6. ASJペアレントメンター電話相談員として細田理事が対応しました。

   平成23年度相談日(カンファレンスを含む)

   5/18、6/15、7/6、7/20、9/21、10/19、11/16、1/18、1/30、2/15、3/21

総務部

1．日本自閉症協会「いとしご」「かがやき」直送会員名簿作成と管理、及びそれに伴う千葉県地区自閉症協会との入・退会、訂正受付業務と入会金の管理をしました。

2．千葉県自閉症協会団体会員・支援会員の入・退会受付と会員への連絡を行いました。

3．会員・団体の個人情報保護管理の徹底を図りました。

4．県・国庫補助金申請事務業務を行いました。

5．日常の金銭出納及び会計帳簿、伝票等諸証書、預金通帳の管理等金銭管理業務を行いました。

   担当者：一般/特別会計　渡邊政志

6．親子の旅事業の事務処理と11月26日 日帰り親子遠足（富山みかん狩りとハイキング）を実施しまし

た。

広報部

1. 広報誌「みち」79号を平成23年10月22日に2,500部、「みち」80号を平成24年2月12日に2,500部発行しました。
2. 千葉県自閉症協会のホームページ(http://www.interq.or.jp/japan/aschiba/)をアップデートし、適時の情報発信を行いました。
3. 会員用メーリングリストを管理、運営しました。

事業部

1. 千葉県自閉症協会講演会
   日時：平成24年2月19日（日）13：30～16：30
   場所：千葉県教育会館本館303会議室
   演題：「地域で暮らす」
   講師：里見吉英　氏　社会福祉法人佑啓会理事長（ふるさと学舎施設長）、（財）日本知的障害者福祉協会政策委員、（財）千葉県知的障害者福祉協会副会長
   参加者数：63名
2. 成壮年自閉症課題研究会
   ① 本人年齢が成年以上の地区会員430人を対象に「親亡き後のための備え（意向書・成年後見・住まいの場）について意識調査を実施しました。46%から回答率を得て、その結果を会報「みち」に報告しました。成年自閉症者の71%が在宅であり、親の高齢化に伴い、成年後見と共に、住まいの場の確保が大きな課題として再認識されました。
   ② 研究懇談会を４回開催しました。(延べ参加者数　57名)
   4/9　「ライフサポートやまぼうしの会の成年後見他の活動紹介」
   6/11　「大久保学園の地域生活支援サービスについて」
   10/8　「親が後見人になることについて」(二人の親後見人の実例紹介)
   12/10　「親として社会福祉法人の運営に関わって（アルムの森総施設長)」

Willクラブ事業部

1. 定例会　11回
   4/18、5/16、6/13、7/11、9/5、10/29、11/28、12/19、1/16、2/20、3/12
2. 運営委員会
   4/18、5/16、6/13、7/11、9/5、10/29、11/28、12/19、1/16、2/4、2/20、3/12
3. 発送作業　7/3、10/3、2/4、3/12
4. 講演会（CASとの共催)・勉強会
   5/16　勉強会「就労支援のいま～制度をめぐって」
   講師：市岡武氏（沼南育成園サポートセンター)
   場所：船橋市中央公民館
   9/11　講演会「発達障害児の視覚機能について」
   講師：川端秀仁先生（かわばた眼科院長)
   場所：千葉市ハーモニープラザ

12/10 講演会「発達障害の人達が働き・働き続けるために必要なこと」

講師：梅永雄二先生（宇都宮大学教授）

場所：千葉県青少年女性会館

3/12　勉強会「おこづかい教育出前教室」

講師：前野達哉氏（ジブラルタ生命・FP）

5.　もちつきキャンプ　1/7－8　（手賀の丘少年自然の家）

6.　アリスのお茶会　　6/12（松戸）、12/4（ディズニーシー）

7.　レッツゴークラブインドア　　6/26、11/13

8.　鉄道部

4/2（小湊鐵道・いすみ鉄道の旅）

8/27-28（東日本大震災ちょっとだけ応援企画　仙台・松島）

12/23（御殿場線・伊東線）

3/24（東武線に乗ろう）

9.　家庭学習支援プロジェクト

6/19（座談会）、7/3（進路報告会）、7/13（参考書さがし）

10．その他

6/25 自然観察会（千葉市昭和の森、協力：千葉県自然観察指導員協議会）

8/1　お出かけ企画（葛西臨海水族園へ行こう）

10/29　震災座談会

11/6　お出かけ企画（千葉大祭りにいってみよう）

1/6　千葉大学オムニバスセミナー講師

1/29　子ども向け金銭教育（マネースプラウト）

世界自閉症啓発デーイベント

千葉県発達障害者支援センターCAS、千葉市発達障害者支援センターと「世界自閉症啓発デーちば実行委員会」を組織して、下記の通り啓発イベントを行いました。

■　事業名：世界自閉症啓発デーin ちば「みんな大切な仲間です」

■　日　時：平成23年9月19日（月）11:00～17:00

■　会　場：千葉市きぼーる1Ｆアトリウム（展示）及び13Ｆビジネス支援センター（講演会）

■　内　容：＊パネル展示

防犯対策、各地区協会、発達障害者支援センター等の紹介・支援グッズ紹介、作品展（絵画・折り紙・手芸・鉄道グッズなど）等

＊講演会　13:30～15:30

テーマ：「あの時！と今！～被災地からのリアルレポート～」

講　師：　熊本葉一氏　岩手県自閉症協会会長

NPOいわて発達障害サポートセンター えぇ町つくり隊代表理事

東日本大震災　千葉県における発達障害者の状況・ニーズ調査の実施

1．主旨・目的

未曾有の大災害となった 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災は、千葉県においても一部地域に大きな被害をもたらしました。予定外の事態に対応しにくい発達障害者にとって、この状況は過酷であったと思われます。今後も起こりうる首都圏型被災の貴重な参考資料とするために、震災時における障害者本人とその家族の状況、その後の生活の様子、被った精神的苦痛等について具体的に記録を残すために調査を実施しました。本調査は、実施後に研究者が分析できる項目を盛り込み、各方面での基礎データとして役立てるように配慮しています。

2．対象

千葉県自閉症協会会員とその子ども（発達障害者）　参考：千葉県自閉症協会会員数：1070 名

3．時期期間とスケジュール

期間：2011 年 5 月～2012 年 3 月

4．調査方法

質問用紙による調査

千葉県自閉症協会会員 1070 名に配付、回答数 349 名（うち家族 271、本人 78）

ヒアリング調査

千葉県自閉症協会の地区会単位による現地ヒアリング、14 地区協会

5．主　催

千葉県自閉症協会、千葉県発達障害者支援センターCAS、千葉市発達障害者支援センター

6．協力者

出口泰靖（千葉大学文学部行動科学科）、千葉大学学生（社会調査実習の受講生）

（ヒアリング調査の立ち会い、質問用紙のデータ入力など）

平成23年度　特別会計収支報告

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（単位：円）

収　　入		支　　出	
前年度繰越金	2,090,286	通信費	0
利子	0	一般会計に繰入	0
一般会計からの繰入	0	次年度への繰越金	2,090,286
合　　計	2,090,286	合　　計	2,090,286

平成23年度千葉県自閉症協会 貸借対照表

（平成24年3月31日現在）

（単位：円）

資産の部			負債の部		
未収金		0	未払金		0
			正味財産の部		
現金預金	一般勘定	945,165	基金		600,000
	特別勘定	2,090,286	特別会計財産		2,090,286
	基金	600,000	一般会計財産		945,165
合計		3,635,451	合計		3,635,451

千葉県自閉症協会会計　　渡邊　政志

第参号議案

平成 23 年度千葉県自閉症協会　監査報告

平成 23 年度　千葉県自閉症協会の帳簿、領収書、預金通帳を確認・照合し、収入支出ともに適正に処理され、当会資産が正しく保全されていることを認めます。

平成 24 年 4 月 21 日

監　事　　　角口　早　苗

第四号議案

理事の選任について

平成 24 年度　千葉県自閉症協会役員

理事　白水　幹久（我孫子市）
冨江　民子（市川市）
辰巳　鐵次郎（市原市）
清田　成子（印旛地区）
高津　文子（浦安市）
細田　智子・池田　順子（柏市）
藤嵜　義昭（君津地区）
鈴木　寿裕・阿部　明子・石井　賀陽子（千葉市）
今関　裕子（長生・山武）
大屋　滋・竹蓋　伸六（東総地区）
中村　美加（流山市）
矢作　貞代・佐藤　彰（習志野市）
大野　祐子（野田市）
高橋　純子（船橋市）
朝倉　潤一・四家　秀治（松戸市）
渡邊　政志（八千代市）
坂本　秀美・三川　瑞子(Will クラブ)

監事　角口　早苗（松戸市）

理事互選により以下の役職者等を決定する。

会長
副会長
事務局長
総務部長
広報部長
事業部長
　成壮年自閉症課題研究会
Will クラブ事業部長
一般会計
特別会計

第伍号議案

平成 24 年度　千葉県自閉症協会活動計画（案）

基本方針

1．千葉県における自閉症児者支援運動を展開できる体制の構築を目指します。
2．県民の自閉症の理解を促進するための活動を行います。世界自閉症啓発デーに向けて、県内の関係団体との連携を深めながら活動を行います。チラシやポスターを作成し、地区自閉症協会の啓発活動をサポートします。
3．地区自閉症協会会員への情報提供を促進すると共に、千葉県内の自閉症児者、その家族、関係者への啓発活動を進めます。またその支援を通して組織の充実に努めます。
4．自閉症者の権利擁護に向けた取り組みを進めます。
5．千葉県への政策提言を継続し、障害者支援諸施策立案活動への参画を行います。県内の行政機関、教育機関などに対して、発達障害者支援法、及び障害者自立支援法を踏まえて、自閉症の人の医療・教育・福祉の向上を目指した働きかけを行います。
6．千葉県発達障害者支援センター（CAS）、千葉市発達障害者支援センターと連携を進めます。
7．千葉県や全国の各発達障害者支援団体と連携を強めます。
8．千葉県や全国で自閉症等の発達障害に関する啓発活動、研修活動、研究活動を行います。
9．社団法人日本自閉症協会の正会員として、その全国的な活動の活性化に努めます。
10．日本自閉症協会関東ブロック役員会議に積極的に参画します。

各部局活動計画

事務局

1．運営方針
　① 千葉県自閉症協会の組織運営の円滑化を図ります。
　② 社団法人日本自閉症協会本部からの委託業務を的確に遂行します。
　③ 関係者の幅広い情報共有と意見交換を促進するため、下記の ML を活用します。
　　千葉県自閉症協会役員 ML
　　教育 ML
　　成年壮年自閉症問題検討研究会 ML
　　千葉県自閉症協会 ML
2．地区自閉症協会支援
　① 千葉県自閉症協会と地区自閉症協会の連携を強化し、千葉県各自治体における発達障害者支援法の着実な施行、障害者自立支援法施行における自閉症児者のニーズの実現に向けた、地区自閉症協会の着実な取り組みを支援します。
　② 地区自閉症協会の活動活性化と業容拡大に向け、先進地区自閉症協会の好取組事例を共有する取り組みを継続します。
　③ 千葉県自閉症協会と地区自閉症協会の活動を、より多くの自閉症を抱える人々とその支援を行う関係諸機関に認知してもらえるように努めます。

総務部

1．千葉県地区自閉症協会会員の入退会･訂正受付業務と名簿管理、及び日本自閉症協会との連絡調整、入会金の管理を行います。
2．千葉県自閉症協会団体会員・支援会員の入退会業務と会員への連絡を行います。
3．会計業務及び補助金申請業務を遂行します。
4．親子の旅事業のとりまとめと日帰り親子遠足を実施します。

広報部

1．広報誌「みち」の発行
　「みち」81 号を平成 24 年 8 月、「みち」82 号を平成 25 年 1 月頃に発行します。
2．千葉県自閉症協会のホームページを管理、運営し、適時の情報発信に努めます。
3．会員用メーリングリストを管理、運営し、会員間の情報交換を支援します。

事業部

1. 講演会を開催します。
2. 成壮年自閉症課題研究会
　① 引き続き、年 6 回研究懇談会を開催します。
　② 施設見学会の他、住まいの場、成年後見、福祉制度などについて勉強会を致します。

Will クラブ事業部

1．定例会　月１回（8 月は休み）
　うち、2 回は船橋市以外で開催予定
2．講演会、勉強会
　① 講演会（CAS との共催）　１回
　② 座談会・勉強会
3．余暇支援
　① 親子の旅事業
　② 鉄道部
　③ レッツゴークラブ
　④ その他企画
4．家庭学習支援プロジェクト
　座談会、進路報告会
5．その他

啓発事業

世界自閉症啓発デーin ちば

千葉県発達障害者支援センターCAS、千葉市発達障害者支援センターとともに世界自閉症啓発デーin ちば実行委員会を組織し、平成 25 年 4 月 2 日の世界自閉症啓発デーに合わせて、3 月末もしくは 4 月初めに、啓発イベントを開催する予定です。

第六号議案

平成24年度　　予算(案)

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)
(単位:円)

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
正会員会費	4,212,000	4,000円×1,053名	日本自閉症協会会費	2,632,500	2,500円×1,053名
			日本自閉症協会代議員旅費負担	210,600	200円×1,053名
支援会費	92,000	3,000円×14名	日本自閉症協会活動協力費	150,000	3,000円×50名
		10,000円×５団体	事務局費	450,000	
入会金	150,000	3,000円×50名	総務部費	100,000	
			広報部費	600,000	みちの発行等
補助金および寄付金	537,000	千葉県補助金（親子の旅事業　448,000円、千葉県自閉症協会事業　64,000円）　他	事業部費	350,000	成壮研費用60,000円含む。
			WILLクラブ事業費	100,000	
事業収入	120,000	機関誌･書籍販売	事業費	250,000	
			親子の旅事業	448,000	
雑収入	2,000		事務所経費	200,000	
			自閉症啓発ディ費用	200,000	啓発ディ行事費用
前期繰越金	945,165		加盟団体分担金	33,000	
			雑費	50,000	
			予備費	284,065	
	6,058,165			6,058,165	